

取扱説明書

業務用油だき可搬形ヒータ・熱風式直火形

オリオンジェットヒーター

HP 350-L



- このヒータは「産業用」です。取り扱いには十分注意してください。
- この取扱説明書をよく読んでヒータを正しくお使いください。
- 取扱説明書は必ず保存しておいてください。



ガソリン厳禁



換気必要
(1時間に1～2回)

巻末が保証書となっています。
大切に保管してください。

◆ も く じ ◆

⚠ 安全のために必ずお守りください...	1	安全装置.....	11
各部のなまえ.....	7	日常の点検・手入れのしかた.....	12
準備と確認		故障・異常の見分け方と処置のしかた	
燃料.....	8	サービスを依頼される前に.....	14
点火前の準備.....	8	故障・異常早見表.....	15
使いかた		掃除・部品の交換のしかた.....	16
給油のしかた.....	9	保管のしかた.....	18
点火のしかた.....	9	廃棄について.....	19
消火のしかた.....	10	オプション・部品・消耗部品.....	19
ダクトの使いかた.....	10	アフターサービス.....	20
移動のしかた.....	10		

お買い上げありがとうございます。

このたびは、オリオン製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

より安全に、また良好な状態でお使いいただくために

この「取扱説明書」をお読みになって、正しくお使いください。

なお、機構及び仕様等は予告なく変更する場合があります。

その際には、本書の内容と一部異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、 **危険**  **警告**  **注意** に区分して表示してあります。



危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定されるもの



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されるもの



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定されるもの

また、 **注意**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- 取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。
- お使いになっている製品を譲渡されたり、貸与されるときには、新しく所有者となられる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところに添付してください。

■図記号について

	 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれているものは、その行為を表します。
	 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれているものは、その行為を表します。
	 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれているものは、その行為を表します。
	 記号は、警告・注意以外の重要な事項を示します。



安全のために必ずお守りください

危険



ガソリン厳禁

灯油（JIS 1 号）を必ず使用してください。

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。

火災の原因になります。



可燃性ガス及び引火性液体厳禁

可燃性ガスを発生するもの（シンナー、ガソリン、LPGなど）を使っているところや置いてあるところでは、ヒータを絶対に使用しないでください。

引火して爆発、火災、やけど等になり危険です。

段積燃焼厳禁

段積みした状態では決して燃焼させないでください。

爆発、火災、やけど等になり危険です。



ときどき換気 換気必要

換気せずに、使用し続けしないでください。

酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になる恐れがあります。

使用中は1時間に1～2回換気して、新鮮な空気を補給してください。

換気が十分にできないビニールハウス、地下室および狭いところなどでは使用しないでください。



改造しない

改造された場合は保証外とします。



安全のために必ずお守りください



警告



変質灯油、不純灯油使用厳禁

誤って変質灯油や不純灯油を使用すると異常燃焼や火災の原因になります。

スプレー缶厳禁

スプレー缶など密閉容器を暖めたり、熱風の当たるところに放置しないでください。
熱でスプレー缶などの圧力が上がり、爆発し危険です。

可燃性粉塵厳禁

可燃性粉塵（木くず、紙くず、繊維くずなど）が発生するところでは使用しないでください。
ヒータに吸い込まれると、加熱され火の粉になって吹き出されるので、火災の原因になります。

ダクト直接接続厳禁

熱風吹出口に直接ダクトを接続しないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。

可燃物注意

可燃物のそばで使用しないでください。
可燃物との距離はP6に示す距離を確保してください。
火災の原因になります。

空気取入口及び熱風吹出口をふさがない

紙、シートなどで熱風吹出口や空気取入口をふさがないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。



感電注意

雨水、雪などのかかるところ及び湿気の多いところでは使用しないでください。
濡れた手で操作しないでください。**感電の恐れがあります。**
日常の点検、手入れ、掃除、部品交換、オプション部品取付時などは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電の恐れがあります。**

注意



燃焼中の移動禁止

ヒータを火のついたまま移動しないでください。

やけどの恐れがあります。

転倒すると火災の原因になります。

電源の確認

電源はAC100Vを使用してください。周波数は仕様プレートに記載されている周波数で使用してください。

AC200V コンセントには絶対に差し込まないでください。

電源は直接コンセントに差し込み、タコ足配線はしないでください。

火災や感電の恐れがあります。また故障の原因にもなります。

使用する場所

次の場所では使用しないでください。

火災、やけど等の原因になります。

- ・ 換気が十分に行えないところ
- ・ 可燃性ガスの発生するところ
- ・ 可燃性粉塵の発生するところ
- ・ 振動の激しいところ、水平でないところ。
- ・ 階段、避難口及び部屋の出入口など、人の通るところ。
- ・ 風のあたるところ。
- ・ 湿気、ほこり、金属粉の多いところ。
- ・ 雨水・雪などのかかるところ
- ・ 磁気や高周波の影響を受けやすいところ
- ・ 不安定な物の近く（棚の下など）
- ・ 腐食性ガスの発生するところ

動物飼育施設で使用する場合

下記内容が想定されます。

- ・ 敷きワラ、オガ粉等の可燃物が多く、火災の恐れがある。
- ・ 無人になる恐れがあり、換気不十分な場合、酸欠により家畜が死亡する恐れがある。
- ・ 長時間温風に接すると、家畜が低温やけど、脱水症状になる恐れがある。
- ・ 家畜がヒータにぶつかり耐震装置が作動する等、予期せぬ消火により家畜が凍死する恐れがある。
- ・ 家畜がヒータを倒す、壊す等して、火災の原因となる恐れがある。

家畜がヒータに触れないよう、柵など施設の設置をお願いします。



安全のために必ずお守りください



注意



周囲温度

周囲温度は－20度から40度の範囲で使用してください。
異常燃焼や火災の原因になります。

電源プラグでの消火禁止

・電源プラグをコンセントから抜いて消火しないでください。
・ヒータが完全に停止するまで電源プラグをコンセントから抜かないでください。
やけどの恐れがあります。また故障の原因にもなります。

点火操作の繰り返し禁止

燃料切れ以外で、点火操作を3回繰り返しても点火しない場合は、それ以上操作をしないでください。点火操作を3回以上繰り返して点火した時には、熱風吹出口より炎や煙が出ることがあります。また火災の原因にもなります。
お買い上げの販売店にご相談してください。

保管時の段積みは3段まで

保管時にヒータ本体を段積みする場合は、3段以下とし、必ず転倒防止の処置をしてください。
転倒し、ケガの恐れがあります。



運転スイッチの切り忘れに注意

サーモスタットを取り付けて運転すると、自動的に点火・消火を繰り返します。(サーモスタットはオプション)
ヒータを使用しない時は、必ず運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になります。

給油時消火

必ず消火してから給油してください。
火災の原因になります。

正常燃焼の確認

正常に燃焼していることを確認してください。
におい、すすの発生など異常燃焼を起こしたときは、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へ連絡してください。
火災の原因になります。

注意



床面、天井、壁面等の温度に注意

ヒータを使用するときは、床面、天井、壁面等が高温にならないようにしてください。
火災の原因になります。

灯油を入れたまま保管、廃棄しない

シーズンオフや長期間使用しないとき、保管及び廃棄するときは必ず油タンクを空にしてください。
傾けたり、横倒ししたりすると、油タンク内の灯油が漏れて火災の原因になります。
また、長期間保管した灯油を使用すると不完全燃焼の原因にもなります。

運搬時の転倒注意

自動車に積載して運搬するときは、転倒防止の処置をおこなってください。
転倒すると、油タンク内の灯油が漏れて火災の原因になります。



やけどに注意

燃焼中や消火直後は、外筒コーンなどは150度以上の高温になります。
消火後30分間は手を触れないでください。
やけどの恐れがあります。



アースは必ず接地

電源プラグからアースコードが出ています。
ヒータを使用するときはアースコードを必ず接地してください。
感電の恐れがあります。



使用時以外は電源プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
日常点検、手入れ、ヒューズ交換時にも必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の恐れがあります。



安全のために必ずお守りください

本体警告ラベル貼付位置

次の警告ラベルは、重要警告事項の中から特に重要なものとして厳選されておりヒータ本体に貼付されています。ご使用前に必ずお読みください。

また、汚れ、キズなどで見えにくくなった場合には、お買上げの販売店に連絡し、新しいものに貼り替えてください。

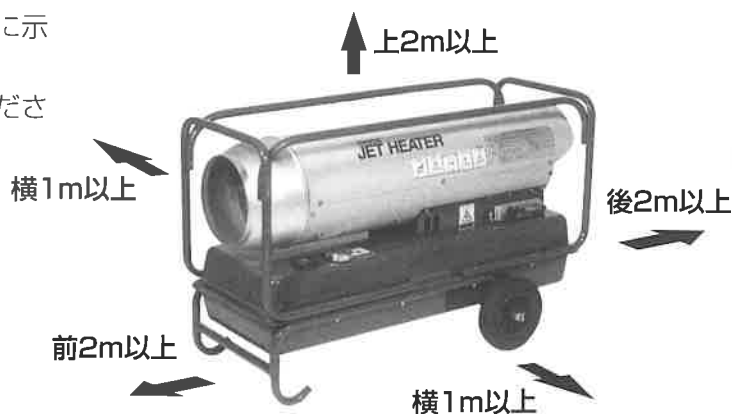


可燃物からの距離確保



警告

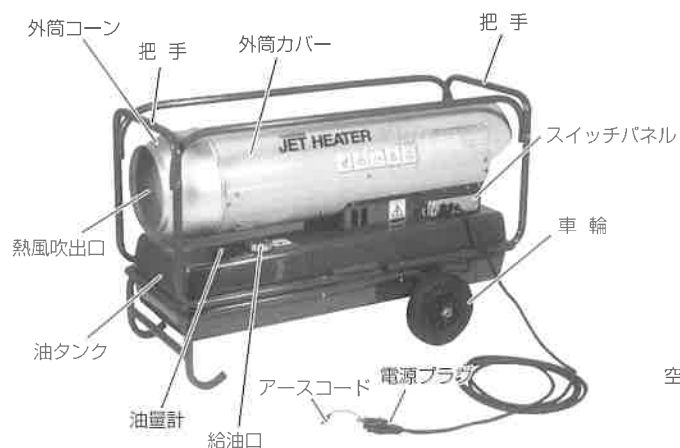
- ・ヒータと可燃物との距離は、図に示す距離を保ってください。
- ・水平で丈夫な床面に設置してください。



各部のなまえ

外観

■前面



■裏面



■スイッチパネル



サーモ接続口は電源コンセントではありません。
また電圧をかけないでください。

■外筒カバーを開けると



準備と確認

燃料



危険

ガソリン厳禁
必ずJIS 1 号灯油を使う。



灯油とガソリンの見分けかた

指先につけ、息を吹きかけます。
(火の気のない所でしてください。)

灯油



濡れたまま。

ガソリン



すぐ乾いてしまう。



警告

変質灯油、不純灯油は使用しないでください

誤って変質灯油、不純灯油を使用すると異常燃焼や火災の原因になります。

■変質灯油とは

- ・古い灯油（昨シーズンより持ち越した灯油）
- ・日光の当たる場所で長期間保管したもの
- ・温度の高い場所で長期間保管したもの

■不純灯油とは

- ・灯油以外の油（ガソリン、シンナー、機械油、重油など）が混入したもの
- ・水やゴミが混入したもの

■変質灯油、不純灯油が入っているときは

- ・油タンク内の悪い油をドレン口より抜き取り良質の灯油と入れかえる。
- ・灯油の抜き方は13ページ「油タンクの掃除」の項を参照。

点火前の準備

1. 梱包箱からヒータを取り出す

- ・各部の梱包部材を全て取り除く。

2. 据え付ける

- (1) 水平なところに置く。
- (2) ヒータの近くに燃えやすいものが置いていないか確認する。

使いかた

給油のしかた



注意

- 給油は必ず消火してから行ってください。
- 給油口フィルターは外さずに給油してください。
- こぼれた灯油はよくふきとってください。
灯油の漏れがある場合は使用しないで、お買い上げの販売店にご相談してください。
火災の原因になります。

1. 油タンク給油口キャップを外す
2. 給油する
油量計の目盛が「F」になるまで給油します。
「F」を超えて入れないでください。灯油があふれることがあります。
3. 給油口キャップは確実に締め付ける
4. 油タンクおよび本体各部に油もれがないことを確認してください。



重要事項

別置き油タンクより配管して、ヒータ灯油を供給する場合は、必ずオプション部品のオイルレベラーをお使いください。なおオプション部品の取扱いについては販売店にご相談ください。

点火のしかた



注意



注意

- 電源はAC100Vを使用してください。
AC200Vコンセントには絶対に差し込まないでください。
- 電源プラグは直接コンセントに差し込み、タコ足配線はしないでください。
火災や感電の恐れがあります。また故障の原因にもなります。
- 電源プラグからアースコードが出ています。アースは必ず接地して使用してください。

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

・サーモスタット運転をする場合は、19ページ「オプション部品・消耗部品」の項を参照してください。

2. 運転スイッチをONにする

3. 直ちに点火します

・運転開始時、煙が出たり、においが出たりすることがありますが、異常ではありません。



- 消火した直後に再点火しないでください。消火後2～3分間待って、再び運転スイッチをONにしてください。
- 安全装置が作動してヒータが停止した時は、停止後2～3分間待ってから、一度運転スイッチをOFFにし、異常の原因を取り除き、再度点火操作をおこなってください。

使いかた

消火のしかた



注意

- 電源プラグをコンセントから抜いて消火しないでください。



注意

- 消火直後は外筒コーン、外筒カバーなどは高温になっています。消火後30分間は手を触れないでください。
やけどの恐れがあります。

運転スイッチをOFFにする

・消火します。

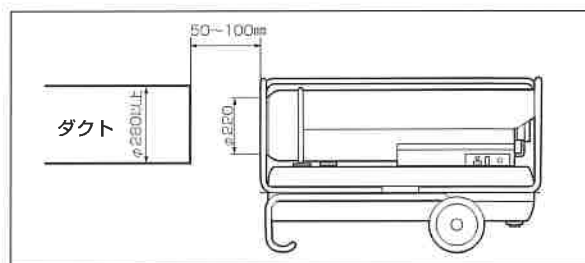


ダクトの使いかた

ダクト使用の際は、下記の点に注意してください。

ダクトは、熱風吹出口より必ず50～100mm離して使用してください。

ダクト径は、ヒータ径よりも太い不燃性のものを使用してください。



警告

- ダクト径を絞ったり、密着させると不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して危険です。
- ダクト周囲の2m以内に可燃物を置かないでください。
火災の原因になります。

移動のしかた



注意

- 火のついたままヒータを移動しないでください。
やけどの恐れがあります。
転倒すると火災の原因になります。

■写真のように把手を持ち脚をうかせ移動してください。



安全装置

装置のなまえ	は た ら き	装置が作動したときの処置
対震自動消火装置	強い地震や衝撃を受けたとき、自動消火します。	ヒーターの周辺に異常がないか確認し、運転スイッチを〔OFF〕にし、その後点火操作をおこなってください。
点火安全装置	点火ミス、途中消火、異常燃焼、油切れなどのとき自動消火します。	原因を取り除いてから点火操作をおこなってください。
過熱防止装置	ヒータ内部が異常に過熱したとき自動消火します。	ヒータが冷えてから異常の原因を取り除き、点火操作をおこなってください。
過負荷保護装置（ヒューズ）	過電流が流れた場合、電気回路を遮断し、運転が停止します。	原因を取り除き、ヒューズを交換してから点火操作をおこなってください。 P17「ヒューズの交換」参照

延長コード使用時の目安

延長コードの長さ	30m	60m	90m	120m
コードの公称断面積	2mm ²	3.5mm ²	5.5mm ²	8mm ²

日常の点検・手入れのしかた



注意

日常の点検・手入れはヒータ本体が冷えてから、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

やけど、感電の恐れがあります。



警告 注意



警告

安全装置、電装部品の取り外しや分解は絶対にしないでください。

使うたびに

■ご使用の前に必ず次の事項を点検してください。



警告

1. 周囲の可燃物の確認

- ・ヒータの周囲に燃えやすいものがないか常に注意してください。
- ・ヒータの近くにスプレー缶などの密閉容器を絶対に放置しないでください。

2. 油もれ、油のたまり、油のにじみ

- ・油タンク及び油配管の接続部から油もれ、油のたまり及び油のにじみがないか点検してください。
- ・油もれがあるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

3. 外筒の変色の点検

- ・外筒カバーの塗装が変色したときは、ヒータ内部に異常がある恐れがあります。早めにお買い上げの販売店にご相談してください。

1 か月に 1 回以上

■フィルターの掃除

サクションフィルター、デリバリフィルターの汚れに注意し、汚れているときはフィルターを掃除してください。

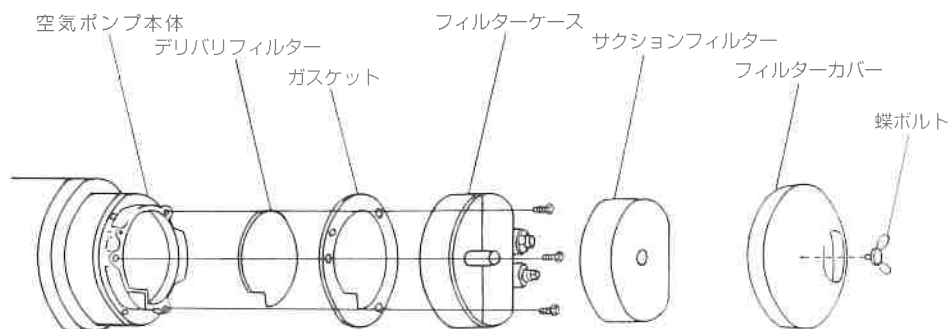
1. フィルターカバーを外す（次ページイラスト参照）

- ・フィルターカバーを締め付けている蝶ボルトを左へ回してゆるめる。

2. フィルター等のホコリをはらう（次ページイラスト参照）

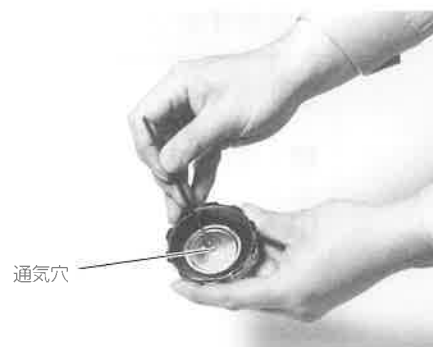
- ・フィルターカバー、サクションフィルター、フィルターケース、ガスケット、デリバリフィルターを外す。各フィルターをフィルターケースから取り出し、圧縮空気等でホコリをはらう。

3. 元通りに組み立てる



■給油口キャップ通気穴の掃除

通気穴がつまっていないか点検し、つまっているときは針金などでつまっているゴミを取り除いてください。



1 シーズンに2～3回

■油タンクの掃除

- ・油タンクの底に水やゴミがたまったとき。
- ・ヒータを保管するとき。

1. 油タンク下に油受けを置く

2. ドレンプラグをとりはずす

スパナ等で、油タンク下のドレンプラグをとりはずす。

3. 油タンク内の灯油を抜く

油タンク内にたまった水やゴミを油と一緒に抜き、油タンク内をきれいにする。

4. ドレンプラグを締め付ける

もれがないように確実に締め付ける。



■対震自動消火装置の確認

燃焼中にヒータをゆすって確実に消火するかどうか点検する。
作動しない場合はお買上げの販売店にご相談ください。

故障・異常の見分けかたと処置のしかた

サービスを依頼される前に

次の現象は故障ではありません

現 象		原因と処置のしかた
点 火 時	すぐ点火しない	・ 油タンクに油が入っていない。 ・ 対震自動消火装置が作動している。水平な場所に置いてください。
	点火・消火時に「キシミ音」がする	・ 加熱・冷却時に出る金属の膨張・収縮音です。
燃 焼 中	燃焼中突然消火した	・ サーモスタット運転(オプション)による自動消火です。 ・ 安全装置による自動消火です。

故障・異常早見表

原因		現象	運転しない	点火しない	途中消火する	熱風吹出口より、炎・煙が出る	においがする	炎が小さくなったり大きくなったりする	処置のしかた
電源プラグがコンセントから抜けている			○						電源プラグをコンセントに差し込む
停電している			○						停電復帰を待つ
ヒューズが溶断している			○						交換する P17「ヒューズの交換」参照
燃料	灯油切れ		○	○					給油する
	水が混入		○	○					油タンクの水抜きをする
	変質灯油・不純灯油を使用した		○	○	○		○		良質の灯油と交換する
炎検出器にスス・ほこりが付着している					○				スス・ほこりをふきとる P16「炎検出器の掃除」参照
給油口キャップの通気穴がつまっている					○				つまりを取り除く P13「給油口キャップ通気穴の掃除」参照
対震自動消火装置が作動した					○				振動しない水平なところで使用する
灯油がこぼれたままになっている							○		こぼれた灯油をふきとる
換気不十分							○		換気する

上記の処置方法によってもよくならない場合は、お買いあげの販売店に相談してください。



注意



警告



注意

処置の際は、ヒータ本体が冷えていることを確認し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

やけど、感電の恐れがあります。

掃除・部品の交換のしかた

炎検出器の掃除



注意



警告



注意

- 電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
感電の恐れがあります。
- 送風ファンが止まっていることを確認してから行ってください。
けがの恐れがあります。
- 消火直後、燃焼筒は高温になります。消火後30分間は手を触れないでください。
やけどの恐れがあります。

1. 外筒カバーをはずす

外筒カバーを固定している6本のネジをドライバにてゆるめ、外筒カバーをはずす。



2. 炎検出器を採光管より抜く



3. 炎検出器の受光面のスス、ホコリ等を取り除く

柔らかい布又は綿棒等で受光面についているスス、ホコリ等を取る。



4. 炎検出器を元通りにする



5. 外筒カバーを取り付ける

※炎検出器が入っている採光管先端部の穴が、ホコリでつまっているときは、掃除してください。

ヒューズの交換



注意



警告

- 電源プラグをコンセントから抜いてヒューズを交換してください。
感電の恐れがあります。
- ヒューズは必ず指定のガラス管ヒューズ(φ6.4×30,125V・8A)を使用してください。

ヒーター側面のスイッチパネル中のヒューズホルダを外し、溶断したヒューズを取り出し、新しいヒューズと交換してください。

ヒューズホルダ



保管のしかた（シーズンオフや長期間使用しない場合）



危険

段積みをした状態では決して燃焼させないでください。

爆発、火災、やけど等になり危険です。

灯油を入れたまま保管・廃棄しないでください。

火災の原因になります。

保管時にヒータ本体を段積みする場合は 3 段以下にしてください。4 段以上の段積みは転倒の危険があります。

また、段積み時には必ず転倒防止の処置をおこなってください。

1. 電源プラグをコンセントから抜く

2. 油タンク内の灯油を抜く

中に水やゴミが残ったままにしておくと、油タンクがさびて穴あきの原因になります

・灯油の抜き方は13ページ、「油タンクの掃除」の項を参照

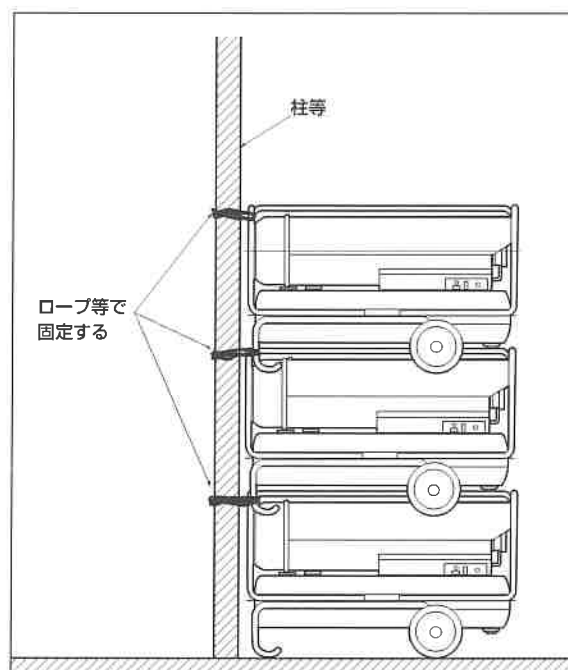
3. ヒーター本体にたまったほこり、汚れを取り除く

4. シート等をかけ保管する

- ・室内
- ・湿気の少ないところ

5. 保管時にヒータを段積みする場合は 3 段積み以下にし、必ず転倒防止の処置をおこなってください。

ヒータ本体の保管は、下図の方法でおこなってください。



廃棄について

ヒータを廃棄するときは、必ず専門の廃棄物処理業者に依頼してください。
絶対に不法投棄はしないでください。

オプション部品・消耗部品

■オプション部品リスト

	部品番号	部品名称	員数／台	備 考
1	03039388020	サーモスタット(高温用)	1	20℃～110℃
2	03039388010	サーモスタット(低温用)	1	10℃～30℃
3	03039388030	サーモスタット(低温用)	1	0℃～20℃
4	03040081010	サーモスタット(防湿型)	1	5℃～40℃
5	03037841010	タイマー	1	
6	03007023010	オイルレベラー	1	

オプション部品を取り付けて運転するときは、必ず純正部品を使用し、付属している取扱説明書をよく読んで接続してください。

■消耗部品リスト

	部品番号	部品名称	員数／台	備 考
1	18502113110	ガラス管ヒューズ	1	φ6.4×30、125V・8A (P17)

部品形状および取付位置については、備考欄に明記されているページをご参照願います。

サーモスタット・タイマーの接続のしかた

サーモスタットまたはタイマーを取り付けて運転するときは必ず純正部品を使用し、付属している取扱説明書をよく読んで次のように接続してください。



- 電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
感電の恐れがあります。

1. 短絡プラグを外す

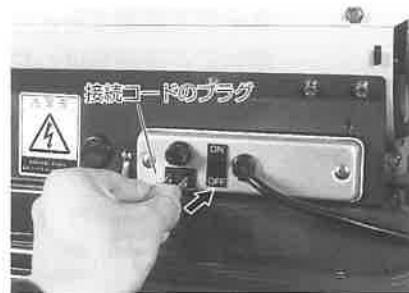
スイッチパネルのサーモ接続口に付いている短絡プラグを取りはずす。



2. サーモスタットまたはタイマーのプラグを取り付ける

純正部品に付属している接続コードのプラグをサーモ接続口へ差し込む。

サーモ接続口へは、電圧をかけないでください。
故障の原因になります。



運転のしかたは純正部品に付属している取扱説明書をお読みください。

アフターサービス

■この製品は、お買い上げ後1年間の無償修理保証がついています。

■「故障・異常の見分けかたと処置のしかた」に従って処置しても、なお具合の悪い場合には、異常の状態と形式名をお買い求めの販売店へ連絡してください。ただし、適用除外項目については、実費ご負担願います。

■無償修理期間経過後の修理については、販売店に相談ください。

修理によって性能が維持できる場合は、有料修理致します。

販売店からの注文により補修用性能部品を販売店に供給します。

この製品の保証の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後6年です。

(1) この期間は経済産業省の指導によるものです。

(2) 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。



保 証 書

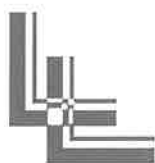


本機はオリオン機械株式会社が責任をもって厳密なる品質管理を行い、これに合格したものです。したがって、お買いあげ後、1か年の保証をいたします。

万一保証期間中に故障が生じた場合には無償修理することを保証します。ただし、適用除外項目については実費負担願います。

適用除外項目

- ご使用にともない、しだいに消耗、磨耗する部品。
(ゴム部品、デリバリフィルタ、サクションフィルタ、ブレード)
- 取り扱い不注意および誤った使用管理に起因する故障。
(1) 添付の説明書以外のご使用による場合。
(2) 異常な環境条件における取り扱いをされた場合。
- 弊社または弊社販売店以外で行われた修理に起因する故障。
- 改造による故障。
- 火災、浸水、落雷等不慮の災害によるもの。
(注)・故障、事故等の場合は必ず機種、製造番号を販売店または弊社営業所へご連絡ください。
・本機の保証は日本国内で使用する場合に限りです。
- この製品のご使用中に発生した故障に起因する種々の出費その他、二次的損害の保証。



オリオン機械株式会社

〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246 電話(026)245-1230



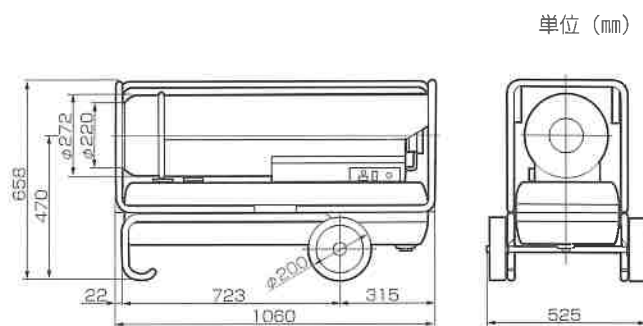
便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買いあげ日		製 造 番 号	
販 売 店 名		店 名	
		電 話 () -	

■仕様

種 類	熱風式直火形
形 式	HP350-L
熱出力（最大）	40.7kW
燃料消費量（最大）	4.18L/h
油タンク容量	58L
燃焼持続時間	14時間
外形寸法	高さ658mm×幅525mm×奥行1060mm
製品質量(油タンク空時)	42kg
定格電圧及び周波数	100V 50/60Hz
定格消費電力(50/60Hz)	380/530W
運転音 (50/60Hz)	77/79dB
安全装置	対震自動消火装置
	点火安全装置
	過熱防止装置
	過負荷保護装置
付属品	ガラス管ヒューズ(φ6.4×30,125V・8A)

■外形寸法



オリオン機械株式会社

本 社 ・ 工 場 〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
 TEL(026)245-1230 FAX(026)245-5424
 テ ク ニ カ ル 〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
 サ ー ビ ス セ ン タ ー TEL(026)245-6264 FAX(026)245-5092
 更 埴 工 場 〒387-0007 長野県更埴市大字屋代1291
 TEL(026)272-5811 FAX(026)272-5754
 千 歳 工 場 〒066-0077 北海道千歳市上長都1051-16
 TEL(0123)23-0195 FAX(0123)23-0196
 技 術 研 究 所 〒380-0928 長野県長野市若里一丁目25番20号
 TEL(026)227-2776 FAX(026)227-3389